

# 近赤外(NIR)イメージング分光顕微鏡

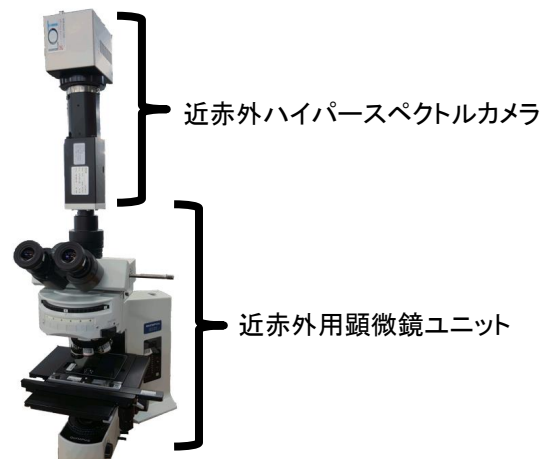
観察視野全点の近赤外領域(NIR)スペクトルデータが測定可能です。

## 装置の特徴

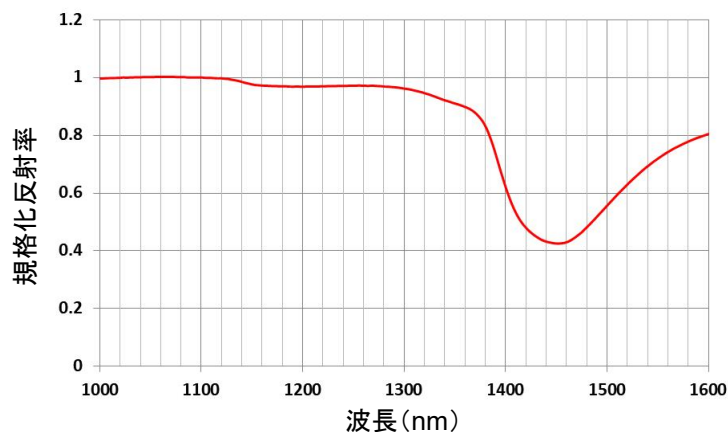
- イメージング分光器ImSpectorによるライン分光  
イメージング分光器と自動マイクロスキャンングステージを用いることにより、観察視野全面のスペクトルデータを高速に測定できます。
- 近赤外波長帯域において優れた透過性能を持つ顕微鏡を採用  
近赤外領域において優れた透過性能を持つ顕微鏡を用いることにより、1,000nm～1,600nmの波長帯域で高SNな計測を実現できます。
- 中間鏡筒の追加により観察用カメラを増設可能(オプション装備)

顕微鏡に中間鏡筒を追加することで、イメージング分光カメラに加えて観察用カメラを増設することができます。

これにより、**顕微鏡観察を行いながら狙った位置の分光スペクトルデータを測定することが可能になります。**



装置外観



測定例 水滴の反射スペクトル(20倍対物レンズ)  
\* 反射率の最大値で規格化

## 装置仕様

分光器	イメージング分光器 <i>ImSpector</i> N17E	標準付属対物レンズ	10倍、20倍
感度波長範囲	1,000 ~ 1,600 nm	結像レンズ倍率	1倍
波長分解能	5 nm (スリット 30 $\mu$ m使用時)	光源	ハロゲン光源
空間分解能	1.5 $\mu$ m (対物レンズ 20倍使用時)	ステージ移動方式	2軸マイクロスキャンングステージ
検出器	InGaAsセンサー	顕微鏡撮像用カメラポート	Cマウントカメラポート
画素数	320 × 320ピクセル	観察用カメラ(オプション)	エリアカラーセンサカメラ
波長バンド数	256バンド		